

人間のほほえみ、人間のふれあいを忘れた人がいます。  
これはとても大きな貧困です。

マザー・テレサ

これは1979年にノーベル平和賞を受賞されたマザー・テレサさんという方の言葉です。彼女はキリスト教カトリックの修道女で、みなさんも一度はどこかで聞いたこと見たことのある人だと思います。彼女はいろんな場面で貧しさを見ていたのでしょう。インドをはじめ、世界各地で相手の状態や信仰を問わないでケア（看護、介護）をしました。

そんな彼女の言葉の一つが上の言葉です。私たちが生きている中で、人とのつながりは必ずあります。それなのに、自分が一人で生きていっていると思ってしまうのは、それは大きな心の貧困であるということです。

いま、私が多くの人とつながっていて、そしてそのつながりの中で生きていくということを意識してみましょう。